

第55号



NPO法人ユーアイやちよ
〒276-0034
八千代市八千代台西 8-16-1
TEL.047-482-4109
FAX.047-482-4179
<http://www16.ocn.ne.jp/~uiyatiyo/>

生活の質を高める援助

生活援助（家事）は、家事行為の代替と、その上にできることなら自分のことは自分でしたいという、生きる意欲を引き出す働きかけを積み上げて完成するということです。

ホームヘルパーの生活援助（家事）によって、利用者の生活がどのように変化したか、という調査では、ホームヘルプサービスを利用するようになって、自分自身でできることが増えた、毎日の生活がよい方向に変わっていると感じているという答えが、7割を占めています。

具体的には

- 調理では～①調理の過程などをみることで食べる意欲が出た
②調理の過程に参加することでできることが増えた
③食事の定期的な供給で生活が安定した
- 洗濯では～①出来ないところを代替することで、できる部分をするようになった
②洗濯が保障されることで身辺状況が改善された
- 掃除では～①ヘルパーの援助がきっかけに自分でできることに取り組むようになった
②環境が整備されることで利用者の身辺状況が改善された



という報告があります。

この結果は、とりもなおさず、家事行為の代替だけにとどまらず、家事行為を媒体として、主体的に自分の生活を組み立てていく意欲を引き出した援助と言えます

（「生活援助—専門職としての視点」京都女子大学大学院教授 井上千津子
日本ホームヘルパー協会月刊誌「ホームヘルパー」平成22年3月号より）



★八千代市1%支援制度の選択届け出をお願いします！★

昨年、八千代市が始めた、市民税の1%を支援対象団体の支援に充ててもらおう「1%支援制度」が今年度も実施されています。ユーアイやちよは、傾聴ボランティア講座開催事業を申請していますので、ぜひ、みなさまの選択届け出をお願いします。届け出の方法など、詳しくは「広報やちよ6月15日号」をご覧ください。なくしてしまった方は、市民活動サポートセンター（TEL.481-3222）にお問い合わせください。1%支援制度は、自分が収める市民税の一部の使い道を自分で決められる画期的な制度です。とても先進的な制度ですので、ぜひ活用ください！

ワールドカップを見て

日本代表チームの活躍に寝不足もいとわず夢中になった。強さの理由は、選手たち全員にチームのために何とかしようという意識が浸透し、ひとりひとりが自分の役割を果たしたことであろう。4年後がまた楽しみだ。ところでサッカーには厳しいルールがあるが、どの世界でもルールのないところはない。我々の福祉事業も同じであり、介護保険法を初めとして法令やルールは多種多様である。

どんなに複雑であっても法令は遵守しなければならないのは当然であるが、あまりにも守ることを意識し過ぎて「守らなければならない」という義務感ばかりが前面に出ても困る。消極姿勢になった結果、活動が委縮してしまっただけでは本末転倒であろう。このような事態は何としても避けたい。そのためには「法令を守ることによって福祉事業本来の活動ができるようになる」と考えるのがいいと思う。消極姿勢から積極姿勢に切り替えるのである。

日本代表チームの活躍を見て、我々ユーアイやちよも全員がチームとして一致協力し、積極的な姿勢を維持して行きたいと思った次第である。

代表 桃井 哲朗

★★★★★ 永い人生体験を積み重ねて！ ★★★★★

この94年間、“体験又は失敗も宝なり”を実感しています。“わが身をつねって人の痛さをしり、失敗を重ねて注意することをしる！”人さまと相和すにはいつもその方の長所と付き合うようにする”などの人生観で平穩無事に過ごして参りました。

私は8年前より介護保険でユーアイやちよより、ヘルパーさんの支援を戴いています。22年前に夫が天国に去りし以来、一人暮らしをしておりますが、7~8年前から、両膝関節炎を患っております。また4年前、突然、原因不明の病から誤嚥性肺炎ほか、次々に患い、1年もの入院生活となり、90歳の年齢には大いなる体力減退となりました。退院に際し、主治医からは一人暮らしの家へ帰ることを心配してホーム入居を勧められましたが、私がどうしても家に帰りたいとの願いを息子達も受け入れてくれ、めでたく我が家に帰ることができました。以来、ユーアイやちよのケアプランで、細やかなスケジュールを組み立てていただき、温かい心配りのヘルパーさんのサービスを受けています。毎日、痛い痛い歩行困難は益々悪化していく一方で、不安な日々の生活なのですが、ふれあいサロンやユニマット勝田台のショートステイへの手配を下さし、生活に潤いが加わり、とても豊かな思いで生活ができています。皆様のボランティア精神を素晴らしく貴いと歓心申し上げ深く感謝しております。いつまでも寿命の続く限りこの家で生き永らえていきたいと念願しております。

利用会員 杉本 和子



○今年度もたくさんの方からご支援をいただきました。

平成22年度 賛助会員のみなさま（順不同、敬称略、前号で3名記載済み）

M.T、K.S、F.T、J.T、H.A、T.S、K.W、T.F、
K.Y、S.T、M.O、A.M、T.I、K.O、K.T、
M.T、K.I、H.S、A.M、S.N、S.S、M.T、S.I、
M.H、K.O

● 微笑みの輪 ～ヘルパーのリレーメッセージ～

山岸 冷子さん

(1) ユーアイやちよに入会してどのくらい？

6年半

(2) 好きな言葉は？

感謝, 愛, 一期一会, 信頼

(3) 仕事で心がけていることは？

笑顔, 言葉かけ, 手を出しすぎない

(4) 利用者さんとの思い出、心に残っている言葉は？

一緒に住んで欲しい！いつも元気でいいね。

(5) 仕事以外で楽しいことは？

ウォーキング, 料理, 土いじり

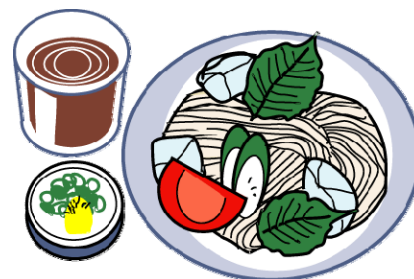


次回のヘルパーさんをご紹介ください

辻 誠逸さん

ユーアイやちよの輪 ～“ふれあいサロンやよい”～ 会報No.46から

- ☆ はじめてお逢いした時、握手を求めてきたKさん。次回、何気なく「おはようございます！」と手を握ったら、Kさんの指が私の手をコチョコチョ！（小林）
Kさんは悪戯っぽくニコッ！
- ☆ 絵手紙グループのYさんは、皆さんが持ち寄った花々を生けたり、筆洗い用の水を用意したりと朝は大忙し
- ☆ 折り紙手芸グループのOさんは面倒見の良い方で、ちょっと遅れ気味や戸惑っている方のお手伝いを率先してやってくれます
- ☆ スタッフのHさん、お出でになる皆さんのお顔と名前を確認しては、いつも元気に声かけをしてお茶を運んでくれます



*いつも40人もの昼食作りスタッフのみなさん御苦労さまです（椎名）

★行事報告



- 22年 4/17 定例会 研修「食中毒と感染症予防」
5/15 22年度総会
講演「地域に暮らす人びとへの支援の方向とユアイヤちよへの期待」
全社協政策企画部広報室長 山下興一郎氏
- 5/20 「語らいパートナーの会」定例勉強会
5/22 千葉県移送サービス連絡会総会
5/28、6/4、6/11 「1%支援制度」による“傾聴ボランティア養成講座”29名
6/9 精神障害者ヘルパー研修
6/13 千葉県たすけあい協議会総会
6/19 定例研修会「普通救急救命講習」八千代市消防本部 19名

☆行事予定

- 7/9、15、22 ケアマネ研修会（事例検討研修会、新しいセフティーネットほか）
7/15 「語らいパートナーの会」定例勉強会
7/17 定例会 研修「在宅でのターミナルケア」
大和田訪看 ST 大河内順子所長
9/19 定例会 研修「精神障がい者へのホームヘルプサービス」
NPO 法人すずらん代表 黒田知映さん、利用者 田井重利さん

編集後記

今の日本は、年間に3万人以上の方が自殺で命を落とすという異常な状態にあるように思います。先日、ある人が「私の姉は生きてくても生きられなかったのに、（自殺をする人は）命を粗末にしている」と言っていました。その言葉を聞いたとき、とても残念に思いました。この世の中に、死にたくて死ぬ人は1人もいないはずで、みんな生きたいのに、生きていられないと思うから、死を選んでしまうのであって、決して粗末にしているわけではないはずで、その気持ちを分かっても、命を粗末にしている人」というような批判を浴びると、「やっぱり自分は死ぬしかないのだ」という気持ちになって、死を選ぶ可能性が高くなってしまいます。思春期の頃から家にひきこもる人たちも大勢いますが、彼らも決してひきこもりたくてひきこもっている訳ではありません。人の心に寄り添うということは、まず、そのことを理解することから始まるように思います。 網干

ユアイヤちよ の あゆみ
編集人 網干 勝 発行人 桃井 哲朗